

なかった者を除外して、発生した高齢者にだけ提供された平均時間を分析した。これは、当該ケアが発生した場合に、どのくらい時間が必要とされるかを分析しようとしたためである。

しかし、いずれのケアも標準偏差が大きいことがわかった。これは、ケアの内容は同じであっても高齢者の状態によって、あるいは家族の状況、いわば家族の介護能力によって、提供時間が大きく異なっていることが推察された。

## ① 発生率の調査結果

まず発生したケアについて分析した結果、発生率が最も高かったのは、「調理」で91.0%を示していた。次いで、「食器洗浄・食器の片づけ」が82.2%、「更衣」80.4%、「洗濯」80.0%、「清掃・ごみの処理」79.8%、「摂食」71.9%と示され、1週間で1分以上、7割以上の高齢者に発生していたケアは、この「調理」、「食器洗浄・食器の片づけ」、「更衣」、「洗濯」、「清掃・ごみの処理」、「摂食」の6種類だけであった。いずれも在宅で生活をする者にとっては日常生活を維持するために必要な行為であった。

5割以上の高齢者に発生していたケアは、前述した6種類を除くと、「薬剤の使用」69.5%、「水分摂取」64.3%、「洗面・手洗い」61.3%、「敷地内の移動」59.1%、「入浴」58.5%、「対象者に関する間接業務」57.9%、「排尿」56.3%、「排便及びおむつ・パット介助」54.9%、「口腔・耳ケア」54.1%、「配膳・下膳」52.5%、「観察・測定・検査」50.9%の11種類のケアであった。

このほかのケアで1割以上に発生していたケアは、「外出時の目的地までの移動」が48.7%、「整容」39.7%、「移乗」36.1%、「運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置」35.5%、「その他の会話」33.7%、「基本日常生活訓練」30.5%、「整理整頓」30.1%、「清拭」22.8%、「体位変換」20.4%、「行動上の問題の予防的対応」19.8%、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」16.4%、「行動上の問題の発生時の対応」15.4%、「来訪者への対応」12.8%、「戸締まり・火の始末・防災」11.4%と示された。

移動に係るケアや BPSD に係るケアや整容や清潔に係るケア、そして「運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置」、また「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」16.4%といった医療的なケアへの提供が一定の割合で発生していることがわかった。

## ② ケア時間も含めた調査結果と考察

1日あたりで、ケア時間が最も長かったのは、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」で77.6分であったが、発生率は16.4%と高くなかった。次いで長い時間が提供されていたのは、「摂食」46.5分、「調理」37.3分、「食器洗浄・食器の片づけ」15.6分の食事に関するケアで、これらの発生率は、それぞれ71.9%、91.0%、82.2%であった。これより、在宅では、食事に係る時間は長く、多くの在宅の高齢者の提供されるケアであることがわかった。

提供時間が長いケアとして、BPSDを持った高齢者に対して「行動上の問題の発生時の対応」が27.3分で、発生率は、15.4%、「行動上の問題の予防的対応」20.6分で19.8%の発生率が示された。これらのケアは、発生すると時間が長いケアであり、しかも変動係数が高いことから、要介護高齢者と家族の状況によって大きくケア時間も異なることが推察された。また「行動上の問題の予防的訓練」については、平均9.6分と示されたが、発生率は、わずかに1%であった。

「排便及びおむつ・パット介助」は23.4分で、発生率54.9%、「排尿」20.8分、56.3%と示され、これらの排泄に係るケアは時間が長く、発生している割合も高かった。

「入浴」は、15.2分で発生率は、58.5%、「更衣」は、10.3分で80.4%、さらに「洗濯」が11.6分で、80.0%に発生していた。これらのケアも日常生活の維持に必要なケアといえる。

この他に、1日当たりで平均10分以上提供されていたケアとしては、「その他の会話」12.9分、33.7%、「基本日常生活訓練」12.7分、30.5%、「敷地内の移動」12分、59.1%と示された。

表 7-5 発生したケアにおけるケア内容別ケア時間(発生率降順上位20位)

	1日平均(分)	1週間平均(分)	標準偏差	変動係数	N	発生率
31 調理	37.3	261.2	21.5	57.7	454	91.0
33 食器洗浄・食器の片づけ	15.1	105.4	11.4	76.0	410	82.2
18 更衣	10.3	72.0	9.4	91.8	401	80.4
51 洗濯	11.6	81.3	9.7	83.2	399	80.0
52 清掃・ごみの処理	8.2	57.6	7.8	94.9	398	79.8
34 摂食	46.5	325.3	32.9	70.7	359	71.9
81 薬剤の使用	8.3	58.0	8.7	105.2	347	69.5
35 水分摂取	8.8	61.8	11.2	127.3	321	64.3
14 洗面・手洗い	4.5	31.6	3.6	78.7	306	61.3
21 敷地内の移動	12.0	84.0	15.3	127.3	295	59.1
11 入浴	15.2	106.2	13.1	86.2	292	58.5
101 対象者に関する間接業務	7.2	50.1	10.3	143.2	289	57.9
41 排尿	20.8	145.7	21.7	104.3	281	56.3
42 排便及びおむつ・パット介助	23.4	163.6	27.8	119.0	274	54.9
15 口腔・耳ケア	7.7	53.7	7.4	96.8	270	54.1
32 配膳・下膳	7.1	50.0	7.8	109.0	262	52.5
84 観察・測定・検査	8.4	59.1	15.5	183.9	254	50.9

65 外出時の目的地までの移動	7.0	49.0	8.5	122.0	243	48.7
17 整容	3.7	26.1	3.9	105.7	198	39.7
22 移乗	6.0	42.2	7.5	125.0	180	36.1

## 2. 男女別高齢者に提供されたケア内容

### (1) 男女別高齢者提供されたケア内容別発生率

男性に 90%発生していたケアは、「入浴」94.4%、「調理」92.8%、「観察・測定・検査」91.7%であった。女性では 90%以上発生したケアとしては、「調理」90.4%のみであった。

また、80%発生していたケアは、男性では、「更衣」88.9%、「水分摂取」83.9%、「摂食」81.6%、「食器洗浄・食器の片づけ」、「洗濯」が 80.0%であった。女性では、「入浴」89.5%、「指導・助言」88.5%、「食器洗浄・食器の片づけ」84.3%、「清掃・ごみの処理」83.1%、「摂食」80.2%であった。

70%発生していたケアは、男性では、「清掃・ごみの処理」73.9%、「薬剤の使用」73.3%、「外出時の目的地までの移動」72.2%、「口腔・耳ケア」71.7%、「洗面・手洗い」71.1%、「排尿」70.0%であった。女性では、「更衣」と「洗濯」が 79.9%、「水分摂取」78.6%、「外出時の目的地までの移動」72.2%、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」71.2%が示された。

男女どちらかに 6 割以上発生していたケアで男女に大きな差があったケアは、「観察・測定・検査」が、男性は 91.7%に対して女性が 38.1%、「薬剤の使用」は、男性が 73.3%であるのに対して女性が 0.6%と、男性での発生率が高いにも関わらず、女性がかかなり低かった。同様に「基本日常生活訓練」は男性が 65.6%発生していたにも関わらず、女性は 1.9%と低く、同様に、「スポーツ訓練」は男性が 43.9%に対して、女性が 9.3%とかなり低かった。「その他の機能訓練」も男性 6.1%に対して、女性 2.6%と示され、男女の差が大きかった。訓練に係る内容は、男性において発生率が高かった。

一方、「指導・助言」は女性が 88.5%に対し、男性が 12.8%と示され、「行動上の問題の予防的訓練」も女性が 24.9%に対して、男性は 1.7%、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」は、女性は 71.2%で、男性が 18.3%と低かった。また、「牽引・温熱・電気療法」は、男性 4.5%、女性 43.1%であった。

本調査の男女による発生率の差は、医療処置の多さや訓練による発生率の差が大きいことがわかった。

表 7-6 性別の提供されたケア内容別発生率（上位 20 位）

ケア内容	発生率(%)	
	男性(N=180)	女性(N=313)
11 入浴	94.4	89.5
31 調理	92.8	90.4

84	観察・測定・検査	91.7	38.1
18	更衣	88.9	79.9
35	水分摂取	83.9	78.6
34	摂食	81.6	80.2
33	食器洗浄・食器の片づけ	80.0	84.3
51	洗濯	80.0	79.9
52	清掃・ごみの処理	73.9	83.1
81	薬剤の使用	73.3	0.6
65	外出時の目的地までの移動	72.2	72.2
15	口腔・耳ケア	71.7	62.3
14	洗面・手洗い	71.1	61.4
41	排尿	70.0	61
21	敷地内の移動	66.7	65.7
91	基本日常生活訓練	65.6	1.9
32	配膳・下膳	63.3	68.1
58	その他の日常生活	62.2	55.9
42	排便及びおむつ・パット介助	60.0	53.2
17	整容	58.3	48.2

(2) 男女別高齢者に提供された合計ケア時間

男女別高齢者に1日あたりの発生したケアにおけるケア時間をみたところ、男性の平均値は241.6分（最小値20.0分、最大値727.8分）と示され、女性は217.2分（最小値6.1分、最大値770.3分）と示され、男性の方が有意にケア時間が長かった。

表 7-7 男女別提供されていたケア時間

	1日平均(分)	1週間平均(分)	標準偏差	変動係数	最小値	最大値	度数	P値
男性	241.6	1691.4	133.8	55.4	20.0	727.8	180	*
女性	217.2	1520.3	123.5	56.9	6.1	770.3	313	

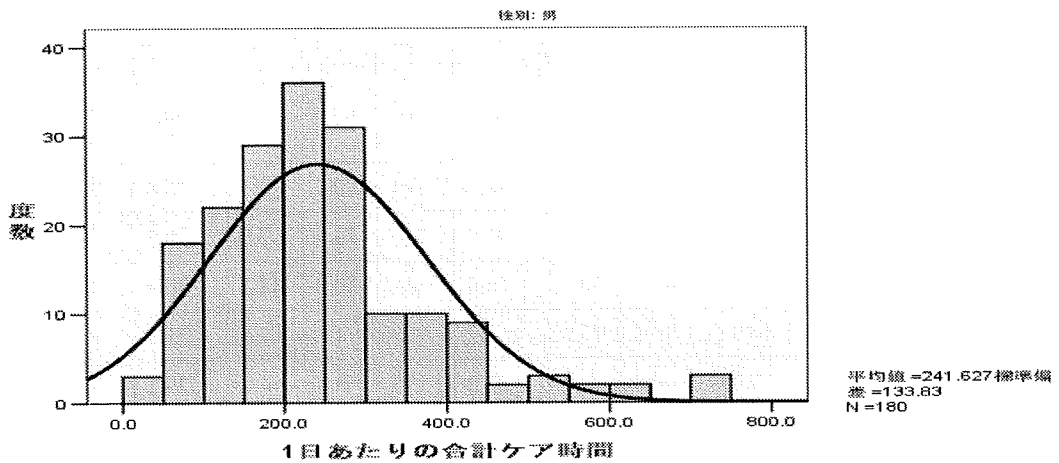


図 7-3 男性に提供されていたケア時間の分布

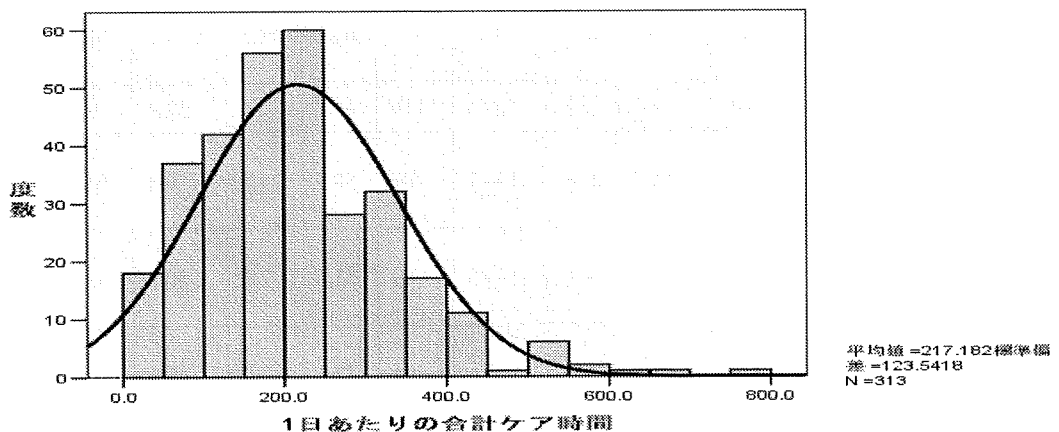


図 7-4 女性に提供されていたケア時間の分布

### (3) 男女別発生したケアにおけるケア内容別ケア時間

男女別に発生したケアにおける平均ケア時間において有意な差が示されたのは、「更衣」が男性 11.9 分、女性が 9.3 分、「薬剤の使用」男性 10.0 分、女性 7.3 分で男性の方が、女性よりも有意にケア時間が長かったことが示された。

表 7-8 男女別発生したケアにおけるケア内容別ケア時間

	男性						女性					
	1日 平均 (分)	1週間 平均 (分)	標 準 偏 差	変動 係数	N	発生 率	1日 平均 (分)	1週間 平均 (分)	標準 偏差	変動 係数	N	発生 率
31 調理	35.8	250.6	19.6	54.6	167	92.8	38.4	268.7	22.6	59.0	282	90.1
18 更衣	11.9	83.6	11.2	94.0	157	87.2	9.3	65.0	8.0	85.7	240	76.7
33 食器洗浄・食器の片づけ	15.5	108.5	10.1	65.1	144	80.0	14.9	104.1	12.2	81.9	262	83.7
51 洗濯	12.4	86.6	10.1	81.9	144	80.0	11.1	77.8	9.4	84.2	249	79.6
52 清掃・ごみの処理	9.0	63.0	8.3	91.9	133	73.9	7.9	55.5	7.6	96.0	259	82.7
34 摂食	45.3	317.2	30.1	66.4	131	72.8	47.2	330.5	34.5	73.1	226	72.2
81 薬剤の使用	10.0	70.0	11.2	112.2	128	71.1	7.3	51.3	6.7	91.0	216	69.0
14 洗面・手洗い	5.0	34.8	4.0	81.2	125	69.4	4.2	29.5	3.2	74.9	178	56.9
35 水分摂取	8.3	58.3	8.1	97.3	122	67.8	9.2	64.6	12.9	139.4	196	62.6
11 入浴	16.5	115.2	13.5	81.9	117	65.0	14.4	100.9	12.8	89.0	173	55.3
41 排尿	22.8	159.4	22.6	99.3	113	62.8	19.6	137.3	21.1	107.8	166	53.0
21 敷地内の移動	13.5	94.5	16.6	123.3	111	61.7	11.1	77.8	14.4	129.7	182	58.1
15 口腔・耳ケア	8.0	55.7	8.7	109.4	110	61.1	7.5	52.4	6.5	86.4	157	50.2
42 排便及びおむつ・パット介助	21.5	150.5	23.0	106.7	106	58.9	24.3	170.4	30.7	126.3	165	52.7
101 対象者に関する間接業務	7.2	50.1	10.0	139.3	99	55.0	7.3	50.8	10.5	144.8	186	59.4
65 外出時の目的地までの移動	6.9	48.4	8.1	117.6	94	52.2	7.0	49.1	8.9	126.5	147	47.0
84 観察・測定・検査	8.2	57.5	13.3	162.1	93	51.7	8.6	60.2	16.7	194.	160	51.1

										8		
17 整容	4.1	28.6	3.6	87.6	88	48.9	3.5	24.7	4.2	120. 2	107	34.2
32 配膳・下膳	8.2	57.3	10.4	127.0	84	46.7	6.7	47.1	6.2	92.2	174	55.6
22 移乗	4.8	33.9	6.0	123.1	72	40.0	6.7	47.2	8.3	123. 9	107	34.2
91 基本日常生活訓練	11.7	82.0	11.8	101.0	69	38.3	13.6	95.5	23.4	171. 1	82	26.2
83 運動器・皮膚・眼・耳鼻 咽喉歯科及び手術にかか る処置	8.7	60.7	15.3	176.2	67	37.2	5.8	40.6	11.0	190. 0	109	34.8
53 整理整頓	3.5	24.8	4.3	120.6	54	30.0	2.9	20.5	3.1	107. 5	93	29.7
59 その他の会話	14.1	98.7	18.3	129.5	51	28.3	12.5	87.4	17.5	139. 9	115	36.7
12 清拭	10.6	74.4	16.0	150.3	47	26.1	8.4	59.1	7.4	87.5	67	21.4
23 体位変換	8.0	56.2	9.4	117.3	35	19.4	10.1	70.8	14.9	147. 3	66	21.1
82 呼吸器、循環器、消化 器、泌尿器にかかる処置	93.7	655.8	137. 8	147.1	32	17.8	67.9	475.4	89.8	132. 3	48	15.3
64 来訪者への対応	11.3	78.8	17.7	157.2	24	13.3	5.8	40.9	8.9	151. 8	40	12.8
71 行動上の問題の発生 時の対応	35.0	244.8	64.1	183.3	22	12.2	24.2	169.3	55.1	228. 0	55	17.6
72 行動上の問題の予防 的対応	32.2	225.6	77.9	241.7	22	12.2	17.8	124.3	30.6	172. 6	75	24.0
85 指導・助言	3.7	26.2	3.9	104.2	20	11.1	3.8	26.7	4.7	122. 4	26	8.3
86 病気の症状への対応	6.6	46.1	7.2	109.6	19	10.6	4.4	30.6	6.0	137. 7	23	7.3
24 起座	2.5	17.4	5.1	205.2	18	10.0	6.6	46.5	12.4	187. 2	31	9.9
66 外出時の目的地での 行為	9.1	63.5	9.1	99.9	16	8.9	6.7	47.2	6.1	90.1	18	5.8
56 戸締まり・火の始末・ 防災	2.6	18.2	2.2	83.4	15	8.3	2.5	17.8	2.5	99.5	41	13.1

92 応用日常生活訓練	7.8	54.6	8.7	112.0	15	8.3	8.4	58.9	11.4	135. 7	20	6.4
94 スポーツ訓練	3.9	27.6	4.8	122.2	14	7.8	6.2	43.1	7.5	121. 4	17	5.4
26 介助用具の着脱	3.4	24.1	3.1	89.7	13	7.2	2.7	18.7	3.6	136. 5	3	1.0
93 言語・聴覚訓練	3.1	22.0	2.5	78.0	11	6.1	5.2	36.3	3.6	68.9	4	1.3
25 起立	3.2	22.6	6.4	198.7	10	5.6	4.6	32.2	5.9	129. 0	13	4.2
19 その他の入浴	2.3	15.9	2.2	94.5	8	4.4	3.9	27.1	6.1	157. 0	4	1.3
62 電話、FAX、E-mail、 手紙	2.6	18.5	4.2	160.1	8	4.4	0.7	4.6	0.7	104. 3	15	4.8
54 食べ物の管理	5.8	40.6	4.7	80.4	7	3.9	2.5	17.6	2.6	104. 6	14	4.5
39 その他の食事	3.5	24.2	2.9	82.6	5	2.8	13.7	96.1	30.1	219. 5	7	2.2
63 文書作成	2.2	15.5	2.1	93.9	5	2.8	3.2	22.3	2.9	91.2	6	1.9
95 牽引・温熱・電気療法	6.7	47.0	5.3	78.8	5	2.8	3.3	23.1	2.4	73.2	8	2.6
99 その他の機能訓練	11.3	79.0	8.5	75.2	5	2.8	7.0	49.2	5.2	73.7	9	2.9
55 金銭管理	2.6	18.0	2.9	111.4	4	2.2	6.8	47.8	12.0	176. 2	8	2.6
13 洗髪	13.4	93.5	21.8	163.6	3	1.7	2.9	20.0	3.1	107. 8	13	4.2
49 その他の排泄	1.1	7.7	0.9	83.9	3	1.7	4.4	31.1	6.5	146. 4	8	2.6
61 行事、クラブ活動	8.7	60.8	12.9	148.3	3	1.7	5.0	35.0	3.3	65.5	7	2.2
73 行動上の問題の予防 的訓練	15.0	105.0	15.2	101.0	2	1.1	6.0	42.3	9.1	151. 1	3	1.0
79 その他の行動上の問 題	2.9	20.0	2.0	70.7	2	1.1	0.8	5.5	0.1	12.9	2	0.6
68 社会生活訓練	2.1	15.0	.		1	0.6	5.5	38.5	7.6	138. 3	3	1.0
89 その他の医療	0.7	5.0	.		1	0.6	6.8	47.8	8.9	130. 4	4	1.3



### 3. 要介護度別提供されたケア内容

#### (1) 要介護度別高齢者に提供されたケア内容別発生率

##### ① 要支援1から要介護5までのケアの発生率の調査結果

要支援から要介護5までのケアの発生率の平均は、要支援 28.0%、要支援2が 29.4%、要介護1が 32.8%、要介護2が 37.0%、要介護3が 39.2%、要介護4が 40.0%、要介護5が 35.2%と示された。ケアの発生率が高かったのは、要介護4で、次いで要介護3、要介護2、要介護5、要介護1、要支援2、要支援1の順となっており、要介護5の発生率が低かった。

要介護度に関わらず、すべての要介護度において7割以上に提供されていたケアとしては、「入浴」、「調理」、「観察・測定・検査」、「更衣」、「食器洗浄・食器の片づけ」、「水分摂取」、「洗濯」、「摂食」、「清掃・ごみの処理」、「外出時の目的地までの移動」という10種類のケアがあった。ただし、更衣については、要支援では50.0%、水分摂取については、要支援では56.3%と低く、要介護5においては、「食器洗浄・食器片付け」が65.4%、「外出時の目的地までの移動」が42.0%と70%未満であった。

##### ② 要支援1に注目したケア発生率の考察

要支援1に発生していなかったケアは、「清拭」、「体位変換」、「起座」、「起立」、「介助用具の着脱」、「その他の食事」、「金銭管理」、「洗髪」、「社会生活訓練」、「その他の排泄」、「その他の機能訓練」、「行動上の問題の予防的訓練」、「職能訓練・生産活動」の13種類で、46種類が発生していた。

要支援1に発生していたケアのうち、最も発生率が高かったのは、「調理」の93.8%で、次いで「観察・測定・検査」と「食器洗浄・食器の片づけ」と「清掃・ごみの処理」の81.3%、「入浴」、「洗濯」、「外出時の目的地までの移動」が75%と「摂食」、「配膳・下膳」、「基本日常生活訓練」、「スポーツ訓練」は、すべて62.5%といずれも高い割合を示していた。「水分摂取」、「敷地内の移動」、「外出時の目的地での行為」は56.3%、「更衣」、「その他の会話」が50%、「薬剤の使用」、「その他の日常生活」43.8%、「排尿」、「整容」、「応用日常生活訓練」37.5%、「口腔・耳ケア」、「移乗」31.3%と示された。これらのケアは、30%以上の発生率が示されており、要支援1においても多くのケアの種類が発生していることが示された。

##### ③ 要支援2に注目したケア発生率の考察

要支援2では、「体位変換」、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」、「起立」、「介助用具の着脱」、「その他の食事」、「金銭管理」、「その他の入浴」、「社会生活訓練」、「その他の排泄」、「行動上の問題の予防的訓練」、「その他の医療」、「その他の移動」、「職能訓練・生産活動」という13種類のケアが発生していなかった。発生していないケアの種類は、要支援1よりも多かった。

要支援2に発生していたケアのうち、最も発生率が高かったのは、「調理」の95.7%で、次いで、「食器洗浄・食器の片づけ」91.3%、「入浴」、「清掃・ごみの処理」87%、「洗濯」82.6%、「外出時の目的地までの移動」82.6%、「観察・測定・検査」78.3%、「水分摂取」69.6%、「摂食」65.2%、「更衣」、「配膳・下膳」、「対象者に関する間接業務」、「外出時の目的地での行為」60.9%、「敷地内の移動」、「スポーツ訓練」52.2%、「薬剤の使用」、「基本日常生活訓練」、「その他の会話」47.8%、「その他の日常生活」43.5%、「排尿」、「行事、クラブ活動」39.1%、「応用日常生活訓練」34.8%、「整容」30.4%と示されていた。要支援1と2において、大きく異なっていた発生率のケアは、ほとんどなかった。

#### ④ 要介護1に注目したケア発生率の考察

要介護1において発生していなかったケアは、「その他の医療」と「その他の移動」の2種類であった。また、「牽引・温熱・電気療法」、「介助用具の着脱」、「起立」、「洗髪」は、1.2%とほとんど発生しておらず、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」、「行動上の問題の予防的訓練」、「社会生活支援のその他」、「社会生活訓練」、「文書作成」、「その他の排泄」も2.4%と低い発生率であった。これら12種類のケアは、要介護1においては、ほとんど発生していなかったケアであった。

一方、最も発生率が高かったケアは、「清掃・ごみの処理」、「調理」90.5%、「入浴」89.3%、「観察・測定・検査」88.1%、「外出時の目的地までの移動」、「洗濯」84.5%、「食器洗浄・食器の片づけ」78.6%、「更衣」73.8%、「水分摂取」72.6%、「摂食」70.2%、「薬剤の使用」、「配膳・下膳」63.1%、「排尿」61.9%、「対象者に関する間接業務」60.7%、「敷地内の移動」、「基本日常生活訓練」53.6%、「応用日常生活訓練」、「行事、クラブ活動」52.4%、「スポーツ訓練」51.2%、「その他の会話」50%と5割以上に発生しているケアの種類が要支援2よりも多く、「その他の日常生活」46.4%、「外出時の目的地での行為」45.2%、「口腔・耳ケア」45.2%、「洗面・手洗い」40.2%、「整容」35.7%、「整理整頓」34.5%と示され、要介護1になると要支援2よりも発生するケアの傾向は同じであるが、その発生率が少し高くなっていた。

#### ⑤ 要介護2に注目したケア発生率の考察

要介護2において発生していなかったケアは、「社会生活支援のその他」だけであった。また、発生率が低いケアとしては、「牽引・温熱・電気療法」、「洗髪」、「その他の医療」、「その他の移動」、「職能訓練・生産活動」が1.1%、「その他の入浴」、「その他の排泄」、「文書作成」、「行動上の問題の予防的訓練」が2.2%、「電話、FAX、E-mail、手紙」が3.3%、「その他の機能訓練」、「食べ物の管理」、「介助用具の着脱」、「その他の食事」、「社会生活訓練」がすべて4.3%と同様に低い発生率であった。

一方、最も発生率が高かったケアは、「調理」96.7%であったが、次いで高かった「入浴」のケアは95.7%と要支援や要介護1までの発生率よりかなり高かった。「観察・測定・検査」、

「食器洗淨・食器の片づけ」90.2%、「更衣」88.0%、「水分摂取」84.8%、「洗濯」、「外出時の目的地までの移動」82.6%、「清掃・ごみの処理」81.5%、「摂食」79.3%、「配膳・下膳」78.3%、「敷地内の移動」75.8%、「薬剤の使用」73.9%、「洗面・手洗い」、「口腔・耳ケア」66.3%、「排尿」64.1%、「その他の日常生活」59.8%、「基本日常生活訓練」57.6%、「対象者に関する間接業務」54.3%、「スポーツ訓練」52.2%、「整容」、「外出時の目的地での行為」51.1%、「行事、クラブ活動」50%と示され、要介護2では、要介護1に比較して、7割以上に発生しているケアの種類が増加していた。

### ⑥ 要介護3に注目したケア発生率の考察

要介護3で発生していなかったケアは、「その他の移動」、「職能訓練・生産活動」の2種類だけだった。「その他の医療」、「社会生活支援のその他」は、1.1%、「金銭管理」、「その他の入浴」、「社会生活訓練」、「文書作成」、「行動上の問題の予防的訓練」が2.2%、「洗髪」が3.3%とこれらのケアは、要介護1や2と同様に、ほとんど発生しないケアであった。

一方、高い発生率が示されたのは、「調理」95.7%、「入浴」、「食器洗淨・食器の片づけ」、「摂食」91.3%、「更衣」89.1%、「観察・測定・検査」、「水分摂取」88.0%、「排尿」85.9%、「配膳・下膳」80.4%、「洗濯」79.3%、「薬剤の使用」79.1%、「外出時の目的地までの移動」78.3%、「口腔・耳ケア」78.3%、「敷地内の移動」、「洗面・手洗い」75.0%、「その他の日常生活」72.8%、「清掃・ごみの処理」70.7%、「基本日常生活訓練」69.6%、「対象者に関する間接業務」62.0%、「排便及びおむつ・パット介助」60.9%、「整容」58.7%、と要介護2に比較すると排泄に係るケアの発生率が高かった。

### ⑦ 要介護4に注目したケア発生率の考察

要介護4で発生していなかったケアは、「その他の食事」、「文書作成」、「行動上の問題の予防的訓練」、「その他の医療」、「社会生活支援のその他」の5種類だった。また、「牽引・温熱・電気療法」、「その他の排泄」、「その他の移動」、「職能訓練・生産活動」は1.2%、「電話、FAX、E-mail、手紙」、「金銭管理」、「洗髪」、「その他の入浴」の2.4%、「社会生活訓練」は3.6%と低い発生率で要介護3までの傾向と同じだった。

一方、高い発生率が示されたのは、「調理」97.6%、「摂食」、「入浴」95.2%、「更衣」92.8%、「観察・測定・検査」、「排便及びおむつ・パット介助」、「水分摂取」90.4%と9割以上と示されたのは、食事と観察、排泄、入浴に関するケアであり、次いで「清掃・ごみの処理」84.3%、「食器洗淨・食器の片づけ」83.1%、「敷地内の移動」81.9%、「洗面・手洗い」80.7%、「排尿」79.5%、「薬剤の使用」、「洗濯」78.3%、「配膳・下膳」、「口腔・耳ケア」73.5%、「外出時の目的地までの移動」72.3%と7割以上の発生率を示したケアの種類も多かった。これらのケアの発生率は、他の要介護度の発生率に比較して高く、排泄関連のケアや移動のケアについてが高いことが明らかにされた。

「その他の日常生活」69.9%、「対象者に関する間接業務」63.9%、「移乗」61.4%、「整容」

59.0%、「基本日常生活訓練」57.8%、「行事、クラブ活動」56.6%、「運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置」47.0%、「スポーツ訓練」45.8%、「応用日常生活訓練」42.2%、「その他の会話」41.0%、「外出時の目的地での行為」33.7%、「体位変換」、「清拭」26.5%、「行動上の問題の予防的対応」25.3%、「整理整頓」24.1%、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」22.9%と示された。

要介護4は、すべての要介護度の中で、最もケアの発生率の平均値が高かったが、食事や入浴や更衣といった日常生活に係るケアの他に排泄関連のケアや、移動、移乗に関するケア、また BPSD に関する予防的な対応の発生率も高く、多様な状態を呈した高齢者が要介護4となっていることが予想された。

### ⑧ 要介護5に注目したケア発生率の考察

要介護5で発生していなかったケアは、「その他の排泄」、「文書作成」、「その他の食事」の3種類で、また「電話、FAX、E-mail、手紙」、「その他の移動」、「その他の医療」は1.2%とかなり低く、「戸締まり・火の始末・防災」、「社会生活訓練」、「金銭管理」、「牽引・温熱・電気療法」、「職能訓練・生産活動」、「行動上の問題の予防的訓練」、「社会生活支援のその他」も2.5%の発生率となっており、低かった。

一方、高い発生率だったのは、「入浴」、「移乗」96.3%、「調理」92.6%、「更衣」、「洗濯」85.2%、「配膳・下膳」81.5%と8割以上の発生率を示したケアは、6種類であった。このように要介護5においては、入浴や移乗がかなり高い発生率を示していた。

次いで、「排便及びおむつ・パット介助」75.3%で、「清掃・ごみの処理」75%、「洗面・手洗い」74.1%、「水分摂取」72.8%、「摂食」71.6%、「食器洗浄・食器の片づけ」70.4%と示された。要介護5では排泄のケアに関する発生率が高かったが、「摂食」、「食器洗浄・食器の片づけ」は、要介護4と異なり、若干、低くなっていた。

「外出時の目的地までの移動」69.1%、「整容」、「行動上の問題の予防的対応」66.7%とBPSD 関連のケアは、他の要介護度との比較から、かなり高い発生率を示していた。「観察・測定・検査」や「その他の会話」も65.4%と高い発生率であった。「起座」59.3%、「清拭」53.1%、「スポーツ訓練」51.9%、「排尿」50.6%、「口腔・耳ケア」46.9%、「敷地内の移動」42%と清拭、移動、排泄に関するケアも発生率が高かった。さらに、「薬剤の使用」は、33.3%、「基本日常生活訓練」、「体位変換」30.9%と示され、薬剤の管理やリハビリテーションや体位変換の発生率も高いことがわかった。

表 7-9 要介護別提供されたケア内容別ケア発生率（上位 20 位）

ケア内容	発生率							
	計	要支 援1	要支 援2	要介 護1	要介 護2	要介 護3	要介 護4	要介 護5
11 入浴	91.2	75.0	87.0	89.3	95.7	91.3	95.2	92.6
31 調理	91.2	93.8	95.7	90.5	96.7	95.7	97.6	71.6
84 観察・測定・検査	89.8	81.3	78.3	88.1	90.2	88.0	90.4	96.3
18 更衣	83.0	50.0	60.9	73.8	88.0	89.1	92.8	85.2
33 食器洗浄・食器の片づけ	82.6	81.3	91.3	78.6	90.2	91.3	83.1	65.4
35 水分摂取	80.4	56.3	69.6	72.6	84.8	88.0	90.4	75.3
51 洗濯	80.2	75.0	82.6	84.5	82.6	79.3	78.3	72.8
34 摂食	80.1	62.5	65.2	70.2	79.3	91.3	95.2	75.0
52 清掃・ごみの処理	80.0	81.3	87.0	90.5	81.5	70.7	84.3	70.4
65 外出時の目的地までの移動	72.1	75.0	82.6	84.5	82.6	78.3	72.3	42.0
81 薬剤の使用	71.7	43.8	47.8	63.1	73.9	79.1	78.3	74.1
21 敷地内の移動	66.3	56.3	52.2	59.5	75.8	75.0	81.9	50.6
32 配膳・下膳	66.3	62.5	60.9	63.1	78.3	80.4	73.5	33.3
15 口腔・耳ケア	65.7	31.3	21.7	45.2	66.3	78.3	73.5	85.2
14 洗面・手洗い	64.8	25.0	26.1	40.2	67.4	75.0	80.7	81.5
41 排尿	64.1	37.5	39.1	61.9	64.1	85.9	79.5	46.9
101 対象者に関する間接業務	60.5	25.0	60.9	60.7	54.3	62.0	63.9	69.1
91 基本日常生活訓練	59.5	62.5	47.8	53.6	57.6	69.6	57.8	60.5
58 その他の日常生活	58.3	43.8	43.5	46.4	59.8	72.8	69.9	46.9
42 排便及びおむつ・パット介助	55.6	18.8	13.0	19.0	33.0	60.9	90.4	96.3

※網掛けセルは、発生率 60%以上のケア

## (2) 要介護度別提供された合計ケア時間

要介護度別に高齢者に提供された合計ケア時間を分析したところ、以下の表7-10、図7-5のように示された。要介護度が高くなるにしたがって、高齢者に提供された在宅における平均ケア時間は長くなっていた。

要介護度別のケア時間において、統計的に有意な差がなかったのは、「要支援1と要支援2」の間と「要支援1と要介護1」の間、「要支援2と要介護1」の間、「要介護3と要介護4」との間だけであった。

在宅でのケアにおいては、実態として、要支援1、2、要介護1の間には、統計的に有意な差は、示されなかった。また要介護3と4の間においても統計的には有意な差がみられなかった。

表 7-10 要介護度別合計ケア時間

	1日平均 (分)	1週間平均 (分)	標準偏差	変動係数	最小値	最大値	N
要支援1	109.0	763.3	65.8	60.3	12.9	245.9	16
要支援2	127.2	890.4	80.3	63.1	15.6	287.1	23
要介護1	149.5	1046.4	97.3	65.1	6.1	449.1	84
要介護2	199.1	1393.4	90.0	45.2	25.7	513.6	92
要介護3	240.5	1683.7	108.2	45.0	56.1	770.3	92
要介護4	252.8	1769.4	100.0	39.6	67.8	601.5	83
要介護5	339.2	2374.6	150.4	44.3	85.9	727.8	81
合計	225.8	1580.9	129.2	57.2	6.1	961.4	471

表 7-11 要介護度別合計ケア時間の検定結果

			平均値の 差	標準誤差	有意確率	95% 信頼区間		
						下限	上限	
要支援1	⇔	要支援2	-18.15	35.20	0.61	-87.33	51.03	
要支援1	⇔	要介護1	-40.43	29.50	0.17	-98.40	17.53	
要支援1	⇔	要介護2	-90.01	29.29	0.00	-147.57	-32.45	**
要支援1	⇔	要介護3	-131.48	29.29	0.00	-189.04	-73.92	**
要支援1	⇔	要介護4	-143.72	29.53	0.00	-201.74	-85.70	**
要支援1	⇔	要介護5	-230.18	29.58	0.00	-288.31	-172.04	**
要支援2	⇔	要介護1	-22.28	25.45	0.38	-72.29	27.73	
要支援2	⇔	要介護2	-71.86	25.21	0.00	-121.40	-22.32	**

要支援2	⇔	要介護3	-113.33	25.21	0.00	-162.87	-63.79	**
要支援2	⇔	要介護4	-125.57	25.48	0.00	-175.64	-75.49	**
要支援2	⇔	要介護5	-212.03	25.55	0.00	-262.23	-161.82	**
要介護1	⇔	要介護2	-49.58	16.32	0.00	-81.65	-17.51	**
要介護1	⇔	要介護3	-91.05	16.32	0.00	-123.12	-58.98	**
要介護1	⇔	要介護4	-103.29	16.74	0.00	-136.18	-70.40	**
要介護1	⇔	要介護5	-189.75	16.84	0.00	-222.84	-156.65	**
要介護2	⇔	要介護3	-41.47	15.94	0.01	-72.80	-10.13	**
要介護2	⇔	要介護4	-53.71	16.37	0.00	-85.88	-21.54	**
要介護2	⇔	要介護5	-140.17	16.48	0.00	-172.54	-107.79	**
要介護3	⇔	要介護4	-12.24	16.37	0.46	-44.41	19.93	
要介護3	⇔	要介護5	-98.70	16.48	0.00	-131.08	-66.32	**
要介護4	⇔	要介護5	-86.46	16.89	0.00	-119.65	-53.27	**

### (3) 要介護度別高齢者に発生したケア内容別ケア時間

提供されたケアは 62 種類あったが、要介護度別にケアが 1 分以上発生していたケアの種類は、24 種類であった。

すべての要介護度には、ケアとして発生していなかったケアは、以下の 38 種類であった。また、これらのケアは、主に要支援 1 や 2 の高齢者には発生していなかったケアであった。具体的には、「洗髪」、「月経への対処」、「整容」、「その他の入浴」、「体位変換」、「起座」、「起立」、「介助用具の着脱」、「その他の移動」、「その他の食事」、「その他の排泄」、「食べ物の管理」、「金銭管理」、「その他の生活自立支援」、「行事、クラブ活動」、「電話、FAX、E-mail、手紙」、「文書作成」、「外出時の目的地での行為」、「職能訓練・生産活動」、「社会生活訓練」、「社会生活支援のその他」、「行動上の問題の発生時の対応」、「行動上の問題の予防的対応」、「行動上の問題の予防的訓練」、「その他の行動上の問題」、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」、「運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉科及び手術にかかる処置」、「指導・助言」、「病気の症状への対応」、「その他の医療」、「基本日常生活訓練」、「応用日常生活訓練」、「言語・聴覚訓練」、「スポーツ訓練」、「牽引・温熱・電気療法」、「その他の機能訓練」、「職員に関する間接業務」、「その他の間接業務」であった。

さらに、これを発生率が高かったケアから降順に並べ、要介護度間の有意な差の有無を示したものが表 7-12 である。この結果、いずれかの要介護度間のケア時間に有意な差があったのは、「調理」、「更衣」、「摂食」、「薬剤の使用」、「水分摂取」、「入浴」、「排尿」、「職員による間接業務」、「排尿」、「排便及びおむつ・パット介助」、「口腔・耳ケア」、「観察・測定・検査」、「外出時の目的地までの移動」、「移乗」、「整理整頓」、「来訪者への対応」、「戸締まり・火の始末・防災」の 17 種類であった。

「食器洗浄・食器後片付け」、「清掃・ごみの処理」、「洗濯」、「洗面・手洗い」、「敷地内

の移動]、「配膳・下膳」、「その他の会話」などには、有意な差はなかった。

#### ① 「調理」

「調理」は、要支援2と要介護5との間に有意な差があり、要支援2は28.8分で要介護5は、39.6分と示され、要介護5が要支援2よりは長い時間が提供されていた。

#### ② 「更衣」

「更衣」は、要支援と要介護3、4との間、要支援2と要介護2、3、4との間、要介護1と要介護2、3、4、要介護3と要介護5との間、要介護4と5の間に有意な差があることが示され、要介護4が12.4分と最も長く、次いで要介護3が12.2分、要介護2が11.0分、要介護5が9.2分、要介護1が7.1分、要支援2が5.2分、要支援1が3.3分であった。要支援1から要介護4までは、提供時間が長くなる傾向はあったが要介護5では、要介護5は要介護2よりも短い時間となっていた。

#### ③ 「摂食」

「摂食」は、要介護1と3、4、5との間と要介護2と4、5の間に有意な差があった。摂食に関するケア提供時間は、要支援1は36.4分、要支援2が33.7分、要介護1が36.8分、要介護2が39.6分、要介護3が49.1分、要介護4が52.5分、要介護5が58.3分と示され、要介護5が長く提供されていたが、要支援1や2、要介護3や4との間には、有意な差はなかった。

#### ④ 「薬剤の使用」

「薬剤の使用」は、要支援2と要介護5、要介護1と要介護5、要介護2と5、要介護3と5、要介護4と5の間に有意な差があった。このケア時間は、要支援1が8.8分、要支援2が4.7分、要介護1が5.9分、要介護2が8.1分、要介護3が6.3分、要介護4が8.5分、要介護5が12.3分と示され、もっとも長い時間、提供されていたのは、要介護5で、次いで要介護4、要介護2、要介護3と続き、要介護度が高くなるにしたがって、長くなる傾向はなかった。

#### ⑤ 「水分摂取」

「水分摂取」は、要介護1と2、3の間と要介護2と5の間、要介護3と5の間と要介護4と5の間に有意な差があった。このケア時間は、要支援1が5.8分、要支援2が12.4分、要介護1が11.6分、要介護2が6.8分、要介護3が6.1分、要介護4が7.9分、要介護5が12.8分で、最も長いケア提供時間は、要介護5で、次いで要支援2、要介護1と続いております。要介護度が高くなるにしたがってケア時間が長くなる傾向はなかった。



## ⑥ 「入浴」

「入浴」は、要支援2と要介護5との間、要介護1と5との間、要介護3と5との間、要介護4と5との間に有意な差があった。要支援1は9.9分、要支援2は9.4分、要介護1は、13.3分、要介護2は16.6分、要介護3は12.8分、要介護4は13.4分、要介護5は20.2分で要介護5が最も長く、次いで要介護2、要介護4、要介護1と続いていた。

## ⑦ 「職員による間接業務」

「職員による間接業務」は、要支援と要介護1との間、要介護1、2、3、4と要介護5との間に示されていた。この業務が提供されていた時間は、要支援1は16.0分、要支援2は5.5分、要介護1は5.0分、要介護2は、5.9分、要介護3は6.3分、要介護4は6.7分、要介護5が11.1分と、要介護5に対するケア提供時間が他の要介護度の提供時間に比較して有意に長かったことが示された。

## ⑧ 「排尿」

「排尿」に関するケアは、要介護1と3、4の間に有意な差があった。要支援1は、34.5分、要支援2は、19.8分、要介護1は12.5分、要介護2は21.7分、要介護3は25.5分、要介護4は、21.8分、要介護5は18.4分で、最も長かったのは要介護3で、次いで要介護4と3と続いていた。

## ⑨ 「排便及びおむつ・パット介助」

「排便及びおむつ・パット介助」に関するケアは、要介護1と4、1と5の間、要介護2と5の間、要介護3と5の間、要介護4と5の間に有意な差があった。また、このケアは、要支援1は、2.4分、要支援2は、4.9分、要介護1は、7.6分、要介護2は、15.8分、要介護3は、18.8分、要介護4の23.1分、要介護5は33.8分と示され、要介護5が長く、次いで要介護4、要介護3、要介護2の順となっており、要支援1、2を除けば、要介護度が高くなるに従って、ケア時間が長くなっていた。

## ⑩ 「口腔・耳ケア」

「口腔・耳ケア」に関するケアは、要介護1と3、1と5の間、要介護2と5の間に有意な差があった。また、このケアは、要支援1は、1.4分、要支援2は、7.7分、要介護1は3.9分、要介護2は、6.4分、要介護3は、8.0分、要介護4は、8.1分、要介護5は、9.6分となっていた。

## ⑪ 「観察・測定・検査」

「観察・測定・検査」に関するケアは、要支援2と要介護5との間と要介護1、2、3、4と要介護5との間に見られた。要介護5が13.8分とほかの要介護度に比較して有意に長

かった。このケアは、要支援1は、9.5分と比較的長かったが、要支援2は、1.7分、要介護1は、4.6分、要介護2は3.9分、要介護3は、5.6分、要介護4は、7.8分と要支援2から要介護4までは、短い時間であった。

#### ⑫ 「外出時の目的地までの移動」

「外出時の目的地までの移動」は、要介護4の5.4分と要介護5の10.5分の間にのみ有意な差があり、要介護4よりも要介護5のほうが長かった。他の要介護度との間には有意さはなかった。要支援1は、6.0分、要支援2は、7.8分、要介護1は、6.1分、要介護2は、6.2分、要介護3は、8.0分、要介護4は、5.4分、要介護5は、10.5分だった。

#### ⑬ 「移乗」

「移乗」は、要支援1の1.7分と要介護5の9.4分の間には、有意な差があった。要介護1と要介護3、4、5との間にも有意な差があった。要介護2と要介護3、4、5の間にも有意な差があった。要介護1と2は、要介護3以上の平均時間より、有意に短かった。要支援2は、2.4分、要介護1は、2.2分、要介護2は、2.8分と比較的短く、要介護3は、7.2分、要介護4は、6.5分、要介護5は、9.4分と要介護3よりも4のほうが短かった。

#### ⑭ 「整理整頓」

「整理整頓」は、要支援1は、3.9分、要支援2は、3.1分、要介護1は、3.2分、「要介護2」は、2.9分、要介護3は、4.1分、要介護4は、3.4分、要介護5は、1.4分となっており、要介護5が一番短かった。有意な差が示されたのは、要介護3と要介護5との間のみで、要介護3が5よりもこのケアの提供時間が有意に長かった。

#### ⑮ 「来訪者への対応」

「来訪者への対応」は、要介護3の3.9分と要介護4の16.3分の間にのみ、有意な差が示され、要介護4のほうが3よりも長い時間を提供していた。要支援1は、5.7分、要支援2は、4.3分、要介護1は、7.3分、要介護2は、8.6分、要介護3は、3.9分、要介護4は、16.3分、要介護5は、8.5分であった。

#### ⑯ 「戸締まり・火の始末・防災」

「戸締まり・火の始末・防災」は、要支援2の1.5分、要介護2の2.5分、要介護3の1.4分、要介護5の0.4分と要介護4の5.0分との間に有意な差があり、要介護4が要支援2、要介護2、3、5よりも長かった。ケア種類別に提供時間を分析した結果からは、在宅では、要支援1、2ともに要介護1から5までの間に有意に長い、あるいは短い時間であったと示されたケアが少なく、「調理」、「更衣」、「薬剤の使用」、「職員による間接業務」、「移乗」とわずかに5種類しかなかった。このことは、在宅でのケアにおいては、要介護高齢

者の状態によってケア時間が異なる傾向を見出すことが難しいということを示しているものと推察された。

表 7-12 要介護度別高齢者に発生したケア時間（ケア内容別発生率降順上位 20 位）

ケア内容	要介護度	1日平均	1週間平均(分)	標準偏差	変動係数	N	発生率(%)
31 調理	要支援1	30.9	216.3	15.6	50.5	14	87.5
	要支援2	28.8	201.6	12.9	45	22	95.7
	要介護1	37	259	19.4	52.4	76	90.5
	要介護2	38.1	266.7	20.8	54.5	89	96.7
	要介護3	38.2	267.4	20.6	54	88	95.7
	要介護4	37.4	261.8	21.2	56.6	81	97.6
	要介護5	39.6	277.2	28.6	72.4	58	71.6
	合計	37.3	261.1	21.4	57.3	428	85.8
33 食器洗浄・食器の片づけ	要支援1	16.1	112.7	7.8	48.4	13	81.3
	要支援2	15.2	106.4	14.2	93.9	21	91.3
	要介護1	14.2	99.4	10.4	73.2	65	77.4
	要介護2	15.4	107.8	9.8	63.8	83	90.2
	要介護3	16	112	13.3	83	84	91.3
	要介護4	14	98	10.7	76.6	69	83.1
	要介護5	13.8	96.6	11.6	84	52	64.2
	合計	14.9	104.3	11.3	75.9	387	77.6
18 更衣	要支援1	3.3	23.1	2.4	72.4	5	31.3
	要支援2	5.2	36.4	5.9	112.7	14	60.9
	要介護1	7.1	49.7	8.1	114.1	57	67.9
	要介護2	11	77	6.8	61.7	78	84.8
	要介護3	12.2	85.4	10.4	85.4	82	89.1
	要介護4	12.4	86.8	12.2	98.6	75	90.4
	要介護5	9.2	64.4	8.2	88.7	69	85.2
	合計	10.3	72.1	9.5	91.9	380	76.2
52 清掃・ごみの処理	要支援1	11	77	9.3	84.2	13	81.3
	要支援2	7.4	51.8	7	94.2	20	87
	要介護1	8.5	59.5	7.3	85.4	75	89.3
	要介護2	8.7	60.9	7.8	90.4	75	81.5

	要介護3	8.5	59.5	7.6	90	65	70.7
	要介護4	7.3	51.1	8.7	118.9	70	84.3
	要介護5	7.8	54.6	7.8	100.9	57	70.4
	合計	8.2	57.4	7.8	95.3	375	75.2
51 洗濯	要支援1	11.2	78.4	9.2	82.5	12	75
	要支援2	13.1	91.7	11.1	84.9	19	82.6
	要介護1	11.1	77.7	9.2	83.2	70	83.3
	要介護2	11.9	83.3	9.8	82.3	76	82.6
	要介護3	11.3	79.1	10.2	90.4	73	79.3
	要介護4	11.8	82.6	10	84.3	65	78.3
	要介護5	11.8	82.6	8.8	74.6	59	72.8
	合計	11.6	81.2	9.6	82.8	374	74.9
34 摂食	要支援1	36.4	254.8	18.3	50.4	6	37.5
	要支援2	33.7	235.9	25.7	76.2	11	47.8
	要介護1	36.8	257.6	29.2	79.3	52	61.9
	要介護2	39.6	277.2	26.2	66.3	64	69.6
	要介護3	49.1	343.7	31	63	75	81.5
	要介護4	52.5	367.5	29.6	56.5	75	90.4
	要介護5	58.3	408.1	45.3	77.8	59	72.8
	合計	47.1	329.7	33	70.2	342	68.5
81 薬剤の使用	要支援1	8.8	61.6	6.6	74.8	6	37.5
	要支援2	4.7	32.9	4.7	100.5	11	47.8
	要介護1	5.9	41.3	4.8	81.6	48	57.1
	要介護2	8.1	56.7	7.7	94.6	65	70.7
	要介護3	6.3	44.1	5	78.6	72	78.3
	要介護4	8.5	59.5	8.8	103.5	65	78.3
	要介護5	12.3	86.1	13.5	109.7	59	72.8
	合計	8.1	56.7	8.6	106.3	326	65.3
35 水分摂取	要支援1	5.8	40.6	3.4	59.8	3	18.8
	要支援2	12.4	86.8	15.7	127	13	56.5
	要介護1	11.6	81.2	16.3	141	41	48.8
	要介護2	6.8	47.6	5.7	84.5	56	60.9
	要介護3	6.1	42.7	6.2	102.8	69	75
	要介護4	7.9	55.3	6.5	81.9	63	75.9
	要介護5	12.8	89.6	16.8	131.1	58	71.6